

地球惑星科学委員会地球惑星科学国際連携分科会 INQUA 小委員会
(第 26 期・第 2 回) 議事要旨

- 1 日 時 令和 6 年 9 月 4 日 (水) 11:00 ~ 12:00
- 2 方 法 オンライン会議 (Zoom : 島根大学)
- 3 出席者 小口 高、阿部 彩子、奥村 晃史、片岡 香子、久保田 好美、齋藤 文紀、
佐藤 宏之、長谷部 徳子、吾妻 崇、出穂 雅実、岡田 誠、鈴木 毅彦

欠席者 川幡 穂高、久保 純子、諏訪 元、北里 洋、春山 成子、横山 祐典

4 議題等

- (1) 前回以降の INQUA の動向
- (2) ASQUA の日本開催の可能性
- (3) 人新世の結果 (IGC2024-SQS の報告)
- (4) 国内開催の国際集会の共催
- (5) 日本学術会議への活動報告
- (6) その他

5 配布資料 : EEIW 2024 松江大会資料

(1) 前回以降の INQUA の動向

前回以降の INQUA の動向に関して、日本代表である小口委員、前代表の出穂委員から報告があった。欠員となっていた INQUA の副会長が選出されたこと、各コミッションの諮問委員 (advisory board member) の選出方法が変更となり、各コミッションから推薦された諮問委員は INQUA 執行部での承認手続きが追加されたことが報告された。

(2) ASQUA の日本開催の可能性

前回の委員会で作された ASQUA の日本開催については、今年と来年は第四紀に関係した国際集会が開催されることなどから難しいという結論に達した。その後の開催の可能性については、引き続き検討することになった。

(3) 人新世の結果 (IGC 2024-SQS の報告)

2024 年 3 月に国際地質科学連合 (IUGS) で否認された人新世の提案について、その後の状況が齋藤委員から報告された。IGC 2024 万国地質会議釜山大会において、第四紀

層序小委員会 (SQS) のビジネス会合が開催され、SQS の元に形成されていた人新世作業部会は解散し、国際層序委員会 (ICS) と SQS も、IGC 2024 において委員が大幅に更新されたことが報告された。

(4) 国内開催の国際集会の共催

齋藤委員から提案のあった 2024 年 10 月 7～11 日に松江で開催される国際集会、EEIW 2024: 第 18 回東ユーラシア国際ワークショップ「The 18th East Eurasia International Workshop」を INQUA 日本委員会が共催することが承認された。海外からの参加者約 30 名を含む約 60 名が参加の予定である。阿部委員から 2025 年 5 月に上海で開催される PAGES の第 7 回 Open Science Meeting、長谷部委員から 2025 年 9 月に金沢で開催される第 19 回 International Conference on Thermochronology が紹介された。

(5) 日本学術会議への活動報告

過去 5 年間の INQUA 小委員会の国内と国際活動を取りまとめることになった。

(6) その他

・ ISC-GeoUnion における INQUA の活動 (IRDR に関連して)

ISC-GeoUnion の活動として、2024 年 10 月に北京で開催される国連傘下の IRDR の総会において、IUGS と INQUA が連携し、「地滑りが誘引する津波と、その災害リスク削減」のセッションが設けられることが北里委員から資料報告があった。